

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0284
施設名	まや保育園
施設所在地	八王子市寺町1番地
法人名	社会福祉法人れんげ会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「音」により、子どもたちの知性の育ちを促す。

・一日の生活にはリズム、流れがあるが、それらのポイントごとに音が流れるようにすることで生活のリズムが身に付きやすくなり、スムーズに次の行動に移れ、また子どもたちの自発的な行動が生まれるようになる。

・音楽レッスンを通じて、乳幼児は楽しく音に触れ、音で遊ぶことから慣れ、幼児クラスでは各種楽器を使い、元気に歌を歌うことの楽しさに触れる

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

乳幼児期に聞く様々な音は、目から入る情報とともに大きな刺激となり子どもたちの成長に大きな影響を与える。「音」にテーマを絞り環境設定することで子どもたちの自発的な気付きや成長につながるよう工夫する。

2. 活動スケジュール

毎月2回実施するヤマハ音楽教室のレッスンで音に親しみ、また日々、定時刻に鳴る音楽により生活のリズムが自然に身に付き、行動できるよう、1年を通じて取り組む。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

ヤマハ音楽レッスンの導入、また、園内放送機器の入替を実施(プログラムチャイム機能の追加)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ヤマハ音楽教室では、ゼロ歳児クラスを含む全てのクラスにてレッスンを実施。様々な音に触れ、音で遊ぶことで知性を豊かにし、音感を磨き、幼児クラスからはより複雑な音遊び、歌の練習、楽器の練習に取り組むことで、豊かな人間性を育む。また、日々、一定時刻に音楽が鳴ることで、音を通じて生活のリズムを取りやすくなり、自ら行動しやすくなるような環境設定をする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・給食前の片付けや手洗いに自然に取り組む姿が見られる
- ・難しい音程の歌の練習に楽しそうに取り組む姿がみられる



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

乳幼児の集団生活において非常に重要となる「生活のリズム」を整え、自然に身に着け、自発的に次の行動に移れるようになる今回の取り組みは非常に意味のあるものだと感じている。小さい子でも、日々同じタイミングで同じ音楽が鳴ることで、条件反射的に生活のリズムを整えることに繋がっているので、これからも改良を続けながら継続していきたい。